

研修報告書

平成28年8月24日

呉市議会議長 殿

呉市議会議員 久保 東

1. 研修期日 研修場所

期日：平成28年8月22日（月）13：30～16：30

場所：京都

2. 研修項目

質問力を高め、議会力に活かす 講師：龍谷大学 土山喜美枝

3. 参加議員

久保 東

4. 随行者

なし

5. 研修目的

議員となり1年が過ぎる中で、5回の個人質問を行ってきたが、この議会における質問のあり方こそが議員活動の中で直接的、また公式的に市民の暮らしに直結した地域政策のあり方に大きく関わってくるものと考え。また、議員一人ひとりの質問力あるいは質問内容に関しては、開かれた議会ということで呉市においても市民にも広く公開され、議員の力量が試され、量られているとも言える。しかしながら、客観的に自分の行った質問を総括する場もなく、市民の要求に応えるだけの質問になり得ているのか、あるいはもっと基本的なことを言えば、何が良くて何が悪かったのかさえも検討できないといった現実がある。

質問する力を伸ばすことは、議員にとって必須のものと言えると同時に、議会において優れた質問と応答によって議会の活性化にもつながると考える。政治への無関心や政治家への不信・不要論も含め、議会改革の動向が大きく注目される中、議員一人ひとりの「質問力」の向上が求められていると考える。

本研修は、質問力を高めることが議会力を高めることをめざし、機能する一般質問とは何かについて理解を深め、自治体議会機能をあらためて考えることを目的とする。

6. 研修内容

<講義内容>

- ・一般質問の特性と機能
 - ・一般質問は機能しているのか
 - ・「機能する一般質問」のために
 - (1) 論点を絞り、具体化する
 - (2) 情報を収集する
 - (3) 質問の作成、質問、質問のその後
 - ・つまり、いい「一般質問」とは、どんな質問か？
 - ・質問力から議会力へ
 - ・議員としてなにが求められるか、議会の一員としてなにが求められるか
 - ・補論：自治体議会の機能をあらためて考える：求められる「議会力」とは
- <グループワーク> 6人前後に分かれ
- ・自己紹介
 - ・ここが問題、私の議会での気になる点
 - ・講義内容に関する質問 聞いてみたいこと
 - ・グループ発表
 - ・質疑応答 まとめ

7. 呉市での展開の可能性

非常に興味深い講義内容であった。質問内容において市政に関する監査機能の質問なのか、あるいは政策提案機能を果たす質問なのかといった意識を持つことで、ぐだぐだの質問にならないといった指摘。また、質問が機能不全となる残念な質問、もったいない質問といった具体では、公表数字だけを確認するだけの質問であったり、論点を入れすぎてぼけてしまった質問であったり、合理的な根拠や論拠のない批判や自身の政治信条の演説に終始している質問などの指摘を受けながら、反省しきりとなった。議会・議員のあり方の問題として無謬の行政によりかかる議員・議会といった行政の相互依存の問題に関する指摘は頷けるものであった。より研修内容を濃くするために、それぞれが持ち寄ったうまく行かなかった質問原稿などを協議すれば興味深いものになると感じた。

呉市議会においても「議会を見せよう、議会で魅せよう」との趣旨の中で、講師の土山先生をお呼びし、質問力や議会力を高めるための議員研修を、ぜひ実現していただくことをお願いできればと思う。(ちなみに大津市議会研修、滋賀県市議会議長研修、北海道芽室町などでも研修実績あり)